

樹木だより

しなのきの果実

樺戸山系が雪化粧した日、朝からよいお天気だったので、光珠内の裏山で、シナノキの果実採りをした。すっかり落葉した梢に、点々と細かく小さい枯れ葉が見え、そこには小さな粒々が数個ずつ着いていた。高枝用の剪定鋏で枝ごと切り落したら、途中の枝々や地面ではねて、果実が枝に着いてなかった。搜してみると、枯れ葉（苞）つきの果柄に3~6個の果実が下垂していた。1個ずつバラバラに落ちずに、苞つきで落ちるらしい。堅い果皮の内に種子が1個は入っていた。夏に、樹木としてはもっとも遅く花咲くものの1つで、蜜蜂に喜ばれるシナノキは、日本のリンデンバウムであり、植栽が期待される。

（防災科 齋藤新一郎）

